

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report

2023

2

FEBRUARY

らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 広報部の活動について 1
- 令和5年度 タスク・シフト/シェア講習会前期について 2
- メールアドレス登録と受信設定のお願い 2
- 愛臨技 HP 求人情報掲載について 2
- 令和4年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ 3
- 「検査と健康展」に参加して 4
- 生理検査研究班基礎講座に参加して 5
- 令和4年度 第2回西三河がんフォーラム 5
- 地区だより(尾張南) 6
- HORIBA 東海地区血液 WEB セミナー 7
- AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信(第85回) 8
- 著作物紹介 8

2023年1月10日現在 正会員数 3,697名

広報部の活動について

広報部理事 武山 純也

愛臨技での広報部の役割は、新型コロナウイルス感染症の流行を機に大きく変革することになりました。

オンライン配信の方法が普及し、多くの研修会で取り入れられる様になりました。今では、ほとんど研修会等の行事において、オンライン配信があり、その都度広報部では支援を行なっています。

オンライン配信は、インターネット環境さえあれば、視聴者は空いた時間にいつでも視聴することができ、現地へ移動する必要もないなど、多くのメリットがあります。一方で、現地開催ならではの雰囲気を求める声も、ばちばち聞こえてきています。オンライン配信か現地開催か、どちらか一方とするのではなく、双方の良いところを採用した開催方法、例えばメイン会場とサテライト会場を繋いだ複数会場での配信方法や、会場と自宅等を繋ぐ配信方法等を、本格的に計画、実践していくタイミングに考えています。ただ、それぞれの会場に合わせた機材の選定や設定が難しいことが、大きな課題となっていますが、行事開催の多い各研究班と協力しながら、なるべく早く実現できればと考えています。ただ視聴する側にも、安定したネット環境が必要となること、ある程度のスペックのPC等が必要になることを、ご承知いただければと思います。

長年、会員の皆さまに向けて毎月発行していましたが「会報らぼニュース」ですが、紙面による発行を廃止することが、昨年の令和4年度定時総会にて案内されました。定時総会後には、本誌でも毎月その旨を案内させていただいておりました。今後については、2023(令和5)年4月号よりPDF形式での発行となります。愛臨技会員の皆さまには、日臨技に登録されているメールアドレス宛に、毎月配信させていただく予定となっております。そのため、日臨技の会員情報へのメールアドレスの登録、および迷惑メールとならないように、受信側の各種設定の対応をお願いいたします。愛臨技発行の各種紙面については、HPにも掲載されております。HPには他にも各行事の案内、精度管理報告、AiCCLSなど、様々な情報が掲載されておりますので、ご活用いただければと思います。

広報部では、オンライン配信やHPといった、デジタル分野で会員の皆さまへ情報提供、支援をしていく予定でおります。より早く、質の高い、情報提供を心がけていきますので、今後とも広報部をよろしく願いいたします。



令和5年度 タスク・シフト／シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会開催予定(前期)

令和5年度の前期については下記の日程を予定しております。募集開始は2か月前で準備しております(令和7年終了予定)。

6月 4日(日)	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院(八事日赤)
7月 9日(日)	名古屋医療センター
7月30日(日)	藤田医科大学
8月27日(日)	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院(八事日赤)
9月24日(日)	藤田医科大学

以上の日程を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染状況によって日程が変更・中止となる可能性があります。

また2022年度は1講習会に対して施設内で5名としていましたが、今年度から撤廃します。ご理解の程よろしく願いいたします。

WEBによる基礎講習を修了していないと受講受付されませんので、積極的に基礎講習を受講しておいてください。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

令和4年度定時総会でご案内のとおり、2023年4月号からの紙面によるらばニュースの廃止に向けて、現在、会員向けにメールでのWeb版らばニュースを配信しています。登録メールアドレスの変更がありましたら、日臨技会員ページよりご変更をお願いいたします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定のほどお願いいたします。今後一層のホームページ及びWeb版での情報提供の充実を予定しております。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技 HP に臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技 HP 会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技 HP にてご確認ください。

令和4年度

愛知県臨床検査精度管理調査報告会および

特別講演会のお知らせ

会 期：3月12日(日) 14:00～16:30

会 場：ウインクあいち 5階 小ホール1

対 象：令和4年度愛知県臨床検査精度管理調査参加施設

定 員：200名

申込期間：2月1日(水)～28日(火)

※日臨技会員の方は、会員専用ページの「事前参加申込」からお申込みください。

非会員の方は、問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。

内 容：令和4年度愛知県臨床検査精度管理調査報告および特別講演会

1) 開会式(14:00～14:10)

愛臨技会長挨拶

2) 検査部門別報告(14:10～15:40)

- | | |
|--------------|------------------|
| (1) 臨床化学検査部門 | (7) 細胞検査部門 |
| (2) 免疫血清検査部門 | (8) 病理検査部門 |
| (3) 血液検査部門 | (9) 生理検査部門 |
| (4) 一般検査部門 | (10) 遺伝子・染色体検査部門 |
| (5) 微生物検査部門 | (11) 生殖医学検査部門 |
| (6) 輸血検査部門 | (12) 事務局総括 |

検査部門別報告は、各部門より要点を簡潔にまとめた形式で行います。詳細な報告は各研究班研究会および総括集をご参照ください。

3) 特別講演会(15:45～16:30)

テーマ：「医療法改正に伴った品質保証施設認証制度について」

愛知県臨床検査技師会 副会長 内田 一豊

平成30年12月1日より施行された医療法等の一部を改正する法律の趣旨と「日臨技品質保証施設認証制度」についてご講演いただきます。

問合せ先：公益社団法人愛知県臨床検査技師会
精度管理事業部 部長 齊藤 翠
藤田医科大学病院 臨床検査部
E-mail：aamt@aichi-amt.or.jp

生涯教育履修点数：基礎教科20点

主催：愛知県臨床検査技師会
共催：愛知県医師会・愛知県病院協会
愛知県臨床検査標準化協議会

『検査と健康展』に参加して

愛知県臨床検査技師会 組織部担当理事 田中 浩一

“わぁ～スゴイ！これ好酸球だね！好塩基球はどこ？”…小学生の低学年であろうか、男の子が顕微鏡を覗きながらスタッフに質問する。聞かれたスタッフも小学生に予想外の質問をされタジタジである。近くで微笑むお父さんに話を聞いてみると“はたらく細胞”の影響らしい。“マンガの影響って凄いんだなぁ～”と言うのが居合わせたスタッフ全員の感想であった。令和4年度の「検査と健康展」は11月13日（日）にイオン三好アイ・モールで開催され、来場者は延べ1,039名と大盛況であった。33名の実務委員が「エコー体験」「血液細胞観察」「手指衛生」「血管年齢」「骨密度」などに分かれ来場者と接していたが、どのコーナーも活気があり笑顔と歓喜にあふれていた。「検査と健康展」は臨床検査技師が病院の外に出て広く仕事の内容を知ってもらう良い機会である。次年度も工夫を凝らし笑顔と歓喜を増やしていきたいと思う。



JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 白石 愛深

今回、「検査と健康展」に実務委員として参加し、手指衛生のコーナーを担当しました。子供からご年配の方まで多く方に立ち寄っていただき、正しい手洗い、消毒の方法をお話ししました。コロナ禍で感染対策が日常的になったこともあり、予想以上に熱心に聞いてくださいました。中には病院の現状や臨床検査技師の仕事内容について興味を持ってくださる方もいて、医療や検査について身近に感じてもらえたように思います。現地開催のイベントに参加するのは初めてでしたが、一般の方々に楽しみながら検査について体験、理解していただき、有意義な時間が過ごせました。今後もこのようなイベントを通して、臨床検査技師という職業を知っていただきたいと思います。



生理検査研究班基礎講座に参加して

社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 足立 依里納

12月4日に日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院にて行われた心臓超音波検査の基礎講座に参加させていただきました。初心者コースと初級者コースに分かれており、各コース30名ほどで行われました。今回、私は初心者コースに参加させていただきました。事前に配布されたWeb講座を受講し、当日の実技講習会に臨みました。Web講座では基本描出断面から応用描出断面、各種計測方法など実際の検査動画を添えた説明があり、とても分かりやすい内容でした。改めて基本に戻り、基本画像の描出方法や正しい計測方法の確認をすることが



実技講習会の様子

ができました。実技講習会では4人グループに分かれ、実際の超音波装置を用いて講師の先生と共に描出するコツや評価するポイントを教えていただきました。ルーチンで行う機会が少ない断面の描出方法や実際に上手に描出するポイント、他施設の計測方法や評価方法など自施設でのスタッフ間のディスカッションとは異なる観点から意見交換をすることができ、とても有意義な時間になりました。

私事ではありますが、就職一年目に新型コロナウイルスが流行してしまい、講習会は主にWeb開催でした。実技講習会は今回が初めての参加でとても新鮮でした。今回のように他施設のスタッフと直接顔を合わせてグループワークを行うことで、新たな課題の発見ができ、とても貴重な経験になりました。最近では会場開催も多くなってきており、このような実技講習会が増えていくといいなと感じました。今回の基礎講座で学んだことを活かし、日々の心臓超音波検査に励みたいと思います。

愛知県臨床検査技師会 生涯教育認定登録団体研究会のご案内

令和4年度 第2回 西三河がんフォーラム

基礎教科：基礎20点

日時：3月1日(水) 18:30~19:30

場所：安城更生病院 2階 第1講堂

テーマ：『最新放射線治療のエビデンスと課題』

講師：名古屋大学医学部附属病院 放射線科 病院助教 奥村 真之

司会：安城更生病院 放射線治療科 放射線治療部長 竹内 亜里紗

参加費：無料

内容：当院は地域がん診療連携拠点病院として、がん治療の三大療法である手術療法、放射線治療、化学療法に力を入れています。

今回の西三河がんフォーラムは、名古屋大学医学部附属病院の奥村真之先生より講演させていただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に放射線治療について学びます。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては急遽開催を変更する可能性があります。開催変更がある場合には、安城更生病院のホームページのお知らせにてご案内させていただきますので、お出かけ前にご確認ください。



病院外観

JCHO 中京病院は、1947年健康保険の福祉施設として、被保険者の疾病治療と健康管理を行い、社会保険診療を模範的に実施する目的のもとに当時の厚生省が主体となり55床の病院として開設されました。その後増改築が行われ、現在661床の病院となっています。

JCHO のローマ字表記は、2014年に年金・健康保険福祉施設整理機構法が改正され、社会保険病院から改組されて独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) グループの一員となったことによります。JCHO は全国に57施設ありますが、当院は JCHO 最大規模の病院で、31の診療科と5つの特殊診療部門をもち、地域医療支援病院・地域中核災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院など多数の指定医療施設として地域医療に貢献しています。2025年には高度急性期医療施設を集約化した新棟が完成予定で、救命救急医療、がん診療、急性期疾患診療、災害医療の更なる機能発展を目指しています。

当院検査部は常勤技師が45名勤務しており、生化学免疫部門・血液輸血部門・微生物部門・病理部門・生理外来尿部門の5個の部門から構成されています。また、国際標準規格「ISO15189」の認定を受けており、高度で品質の高い検査結果を提供できるよう日々努めています。

さて、そんな中京病院検査部ですが、私の個人的な最近のトピックスとして新型コロナウイルス感染症のパンデミックに伴い遺伝子検査体制を構築したこと

があります。もう3年近く前になるでしょうか、新型コロナウイルスが流行し始めて、院内でも PCR 検査ができるように機器の選定に悩んでいたのを思い出します。手技は簡単ですが測定数が少なめのコロナ検査専用機がいいのか、手技は煩雑ですが測定数が多い汎用機がいいのか、変異株にも柔軟に対応できた方がいいんじゃないか、そもそも本当に今以上に流行するのか、機器は買ったものの結局使わないんじゃないか、など様々なことを考えました。最終的にはアフターコロナも見据えて新型コロナウイルス以外の遺伝子検査にも使用できるよう汎用のリアルタイム PCR 装置を購入することに

しました。その後、世界規模のパンデミックが起り、試薬や消耗品の枯渇が酷くなり、専用機は試薬が手に入らなくなった期間もあると聞きました。汎用機を選択した当検査部は、物流の影響を受けず今日まで検査を行って行くことができ、本当に幸運であったと感じています。「なんと400件/日を超える日もあり…」。

まだまだ新型コロナウイルスの流行が落ち着きませんが、当初の予定どおり新型コロナウイルス以外の感染症(カリニヤ BK ウイルスなど)、造血器腫瘍(融合遺伝子など)の遺伝子検査などの院内導入も行うことができ、検査部としても1つステップアップできたと感じております。2025年に新棟ができた際には、検査部も大幅な改築が行われます。今後も少しずつアップグレードし臨床に貢献できるよう日々精進を重ねたいと思う今日この頃です。



定図

HORIBA 東海地区 血液WEBセミナーのご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、以下の要領にて、血液セミナーをWEBにて開催いたします。
皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 2023年3月4日（土）13:00～15:30

参加方法 Zoomを使用したWEBセミナーです。
以下の【お申込み】をご確認ください。

司会

藤田医科大学病院 臨床検査部 佐藤 聖子 先生
鈴鹿回生病院 臨床検査課 広瀬 逸子 先生
岐阜市民病院 中央検査部 渡邊 宜典 先生

講演①

血球形態標準化の分類基準に基づいた血球判別

京都大学医学部附属病院 検査部 中西 加代子 先生

末梢血液像や骨髓像の分類は検査の中で最も主観の入る検査ですが、標準化された分類基準に基づいた判別を行うことで客観性を高めることができます。そのためには、各血球の分化と形態的特徴を正しく理解し、基準となる物差しを正確に把握することが大切です。誰が分類しても一定の精度で報告できることは、形態検査に対する信頼性の向上につながります。腫瘍細胞などの異常細胞を見逃さないためにも、どこをどう見たらよいのか、なぜそう見えるのかを理解していきましょう。

講演②

RCPC ～検査値から病態を紐解く～

愛知医科大学病院 中央臨床検査部 榎本 めぐみ 先生

本講演では、症例解説にて検査データや形態の所見をどのように解釈するのか、クイズ等を交え細胞形態の鑑別ポイントや疾患に対する知識を深めます。事前参加登録をして頂いた方には臨床検査データ、末梢血液像や骨髓像を共有しますので、ご覧になり提示症例の疾患・病態を推測してください。

※ご講演の間に会社説明・弊社製品の紹介を行います。ご了承ください。

【お申し込み】 以下URLもしくは右のQRコードからお申し込みください。
当日の視聴用URLと発表資料をメールで送信いたします。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_wQKY1krtRiK326mpzchT2A



【お問合せ先】 堀場製作所 (hor-med.hor@horiba.com)

株式会社堀場製作所

医用事業本部 TEL 075-313-5736 FAX 075-315-9525 <https://www.horiba.com/jpn/medical/>

●北海道 011-207-1800
●名古屋 052-433-3450

●東北【仙台】 022-776-8251
●大阪 06-6390-8011

●栃木 028-634-7051
●四国 087-867-4800

●東京 03-6206-4719
●広島 082-288-4433

●横浜 045-478-7017
●九州 092-292-3593

AiCCLS

愛知県臨床検査 標準化協議会

通信 (第85回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization: AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、リーフレット「微生物検査 腸管病原菌(4) Shigella」についてご紹介いたします。

赤痢菌(Shigella)について、医療従事者などに説明する時、その特徴や検査について表と写真を用いて、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会 HP の、臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS: 愛知県臨床検査標準化協議会)

AiCCLS(愛知県臨床検査標準化協議会) Leaflet “微生物検査 腸管病原菌(4)”

微生物検査

赤痢菌 (Shigella)

病原体

赤痢菌は、過性嫌気性のブドウ糖発酵グラム陰性桿菌であり、鞭毛をもたないため運動性はない。1897年細菌性赤痢の原因菌として初めて志賀潔が発見し菌名は志賀氏に由来している。抗原構造の差によって4群に大別される (*S. dysenteriae*, *S. flexneri*, *S. boydii*, *S. sonnei*)。 *S. sonnei* が日本で報告が最も多い¹⁾

感染症

細菌性赤痢の主な感染源はヒトであり、患者や保菌者の糞便、それらに汚染された手指、食品、水、ハエ、器物を介して直接、あるいは間接的に感染する。赤痢菌は胃酸に抵抗性が極少数(10-100個程度)の菌でも発病する²⁾。

概ね2~7日の潜伏期を経て発熱、粘血便を混じた頻回の下痢、下腹部痛、しぶり腹を主症状とした腸管感染症をおこす。細菌性赤痢は全数報告対象(3類感染症)であり、診断した医師は最寄りの保健所に直ちに届け出なければならない。有症者だけでなく、無症状病原体保有者も届出が必要となる。

POINT *S. dysenteriae* は志賀毒素を産生するため、ほかの菌種に比べて重症の症状が現れる。

検査

手順³⁾ 分離培養後→集落観察・確認試験・血清型別

使用する培地: SS寒天培地、DHL寒天培地など

培養条件: 糞便を画線後35-37℃で18-24時間、大気培養する。

培地の観察: SS寒天培地上の無色透明~半透明(乳糖非分解)、S型コロニーを観察する(写真1左)。

同定検査⁴⁾: 表1、写真2に示す。

<写真1: SS寒天培地上のコロニー (24時間培養)>

POINT

- S. sonnei* にはSS寒天培地に発育しない株があるため、DHL寒天培地等を必ず併用する。
- S. sonnei* は乳糖非分解のため20時間以上培養するとSS寒天培地やDHL寒天培地で不透明で薄いピンク色を呈するようになる。(写真1右)

赤痢菌 (Shigella)

<表1: 生化学的性状・血清型の違い> d: 菌株により異なる () : 遅れて陽性

	生化学的性状										血清型	備考
	乳糖分解	白糖分解	ガス	リジン脱炭酸	インドール産生	運動性	シモンのアミノ酸利用形態	オルニチン脱炭酸	アルギニン脱炭酸	V/P反応		
<i>S. sonnei</i>	(+)	(+)	-	-	-	-	-	-	d	-	D	1菌型のみ
<i>S. dysenteriae</i>	-	-	-	-	d	-	-	-	-	-	A	特異抗原により1~12型に分類
<i>S. flexneri</i>	-	-	d	-	d	-	-	-	-	-	B	型特異抗原(I~V型)と群抗原(3,4,6,7,8)により分類
<i>S. boydii</i>	-	-	-	-	d	-	-	-	-	-	C	型特異抗原により1~18型に分類
<i>Escherichia coli</i>	+	d	+	+	+	+	+	+	-	-	-	

<写真2: *S. sonnei* の試験管培地による生化学的性状>

治療

重症例には抗菌薬療法を行う。第一選択薬はニューキノロン薬で3~5日間投与。近年は、ニューキノロン耐性菌も報告されるようになり、この場合にはアジスロマイシン(AZM)などの選択も考慮する⁵⁾。

POINT

マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析法(Matrix-assisted laser desorption/ionization-time of flight mass spectrometry: MALDI-TOF MS)を用いた微生物同定法では、遺伝子的相関性が高い大腸菌と赤痢菌を区別できない。そのため鑑別には生化学的性状検査が重要となる。

参考文献

- 1) 感染症発生動向調査年報 2011年第33号。
- 2) DuPont HL, Hornick RB, Snyder JM, et al. Community in shigellosis. II. Protection induced by oral live vaccine or primary infection. J Infect Dis 1972;125:12-16.
- 3) 細菌性赤痢ガイドライン(診療標準, 83-90). 日本臨床微生物学会編, 2016.
- 4) 大腸菌志賀菌感染症の診断と治療, 76-77. 感染症学会誌, 2016.
- 5) JAID/JC感染症治療ガイドライン2015 ―最新治療― 日本化学療法学会誌VOL. 64 No. 1

発行者 愛知県臨床検査標準化協議会 (AiCCLS) 微生物検査部門

問合せ先 公益社団法人 愛知県臨床検査技師会事務所内 愛知県臨床検査標準化協議会事務局
〒460-0002 名古屋市中村区名駅五丁目16番17号 花輪ビル南館1階
TEL:052-581-1103 FAX:052-586-5860 Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization, 2019. 3 Ver.1

会員執筆物の紹介原稿募集します!

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP